

件名	県産特用林産物の放射性物質検査の結果（平成25年度第10報）について ＜出荷制限区域における野生きのこの検査（第2回目）＞
内容	<ul style="list-style-type: none">○ 出荷制限区域（富士吉田市、鳴沢村及び富士河口湖町）内で発生した野生きのこ17検体について、平成25年9月17日及び18日に放射性物質の検査を実施したところ、別紙のとおり結果を得ましたのでお知らせします。○ 検査の結果、富士吉田市内で採取された野生きのこから、食品衛生法で定められた一般食品の放射性セシウム濃度の基準値100Bq/kgを超える放射性物質が検出されました。○ 出荷制限区域の野生きのこについては、放射性セシウム濃度が安定して基準値を下回ることが確認できるまで、国の出荷制限が解除されないことから、当分の間、採取、出荷及び摂取の自粛の要請を継続します。○ 県では、今後も出荷制限区域の野生きのこについて検査を行い、データの収集、蓄積を行います。○ 県内で栽培・飼養されている農林畜水産物については、これまで全て不検出または基準値以下の検査結果となっていますので、県民の皆様には安心してご利用下さい。
問い合わせ先	森林環境部林業振興課 TEL:055-223-1652

(別紙)

品 目	採取地点	核種別放射能濃度【Bq(ベクレル)/kg】			検査日
		放射性セシウム			
		セシウム134	セシウム137	セシウム合計	
キハツタケ	富士吉田市	11.8	79.1	91	9月17日
キハツタケ	富士吉田市	83.4	225	<u>310</u>	9月17日
ショウゲンジ	富士吉田市	17.3	162	<u>180</u>	9月17日
タマゴタケ	富士吉田市	42.7	108	<u>150</u>	9月17日
ハナイグチ	富士吉田市	89.3	273	<u>360</u>	9月17日
マスタケ	富士吉田市	不検出 <5.57	6.82	6.8	9月17日
アンズタケ	鳴沢村	不検出 <2.48	6.77	6.8	9月17日
オオモミタケ	鳴沢村	不検出 <5.71	不検出 <5.84	不検出 <12	9月17日
キハツタケ	鳴沢村	10.3	39.2	50	9月18日
マスタケ	鳴沢村	不検出 <4.07	7.00	7.0	9月18日
マツタケ(松茸)	鳴沢村	不検出 <4.90	24.1	24	9月17日
マツタケ(松茸)	鳴沢村	不検出 <3.95	39.9	40	9月17日
ヤマイグチ	鳴沢村	8.23	54.7	63	9月18日
ヤマドリタケ	鳴沢村	不検出 <4.88	63.0	63	9月18日
アラゲキクラゲ	富士河口湖町	不検出 <5.72	不検出 <5.26	不検出 <11	9月18日
シロハツ	富士河口湖町	16.8	41.9	59	9月18日
マツオウジ	富士河口湖町	不検出 <3.93	不検出 <3.88	不検出 <7.8	9月18日

(検査機関：山梨県衛生環境研究所)

※ 放射性ヨウ素については、不検出でした。

※ 「不検出」とは、検査機関の分析による検出限界値未満のことを示します。

※ 「不検出<」の後の数字は検出限界値です。

【参考】(2012/4/1以降適用)

○食品衛生法上の基準値(放射性ヨウ素は暫定規制値)

放射性セシウム(一般食品): 100Bq/kg

放射性ヨウ素(野菜類): 2,000Bq/kg